

長期間使用できるベビーカー

A2201630 山下 佳奈子

研究の背景

「子供に必要な家具や子供用品」という名目で、0～9歳のお子さんがあるご家庭 1,940件に行われたアンケートでは、1位がベビーカー、2位が子供用食事いす、3位が子供用踏み台という結果であった。1位のベビーカーは85.3%の人が必要だと考えたと回答し、そのうちの75%は購入していた。(無印良品 2010年調査)しかし、子供が乗りたがらなかった、自分で歩きたがるといったことから、あまり使用することなく適応年齢(0～3歳)を超えてしまう人もいるということも耳にする。使用期間が短いという点ではベビーチェアも同様であるが、ベビーチェアの場合はトリップトラップチェアのように、長期間使用できるものも開発されている。そこで、私はベビーカーの寿命を延ばすということに着目した。遊具として遊べるなど、多用途への展開ができるなら、適応年齢を超えてからも使用し続けることのできる製品となるだろう。

本研究では、ベビーカー以外の用途を増やすことで、長期間使用できる製品を作成し、余計な廃棄を防ぐ製品を作成していく。

研究の目的

一時期でなく長期間使用できるベビーカーの製作。

→ベビーカーの適応年齢以後には椅子と遊具とに分解できることにより、「購入したけど使用しなかった」「もう使わないから捨てる」ことを防ぐ製品を製作する。

研究のプロセス



●調査・分析

◆ Web 調査

ベビーカーは子供用品として必要だと感じる人も、子供のために新しく購入する人も多くいるが、ベビーカーの試用期間は短く、中にはまったく使用せずに適応年齢を超えてしまったという人も少なくない。また、使用後にも思い出として、子供を複数人希望しているため残しておきたい人もいるということもわかった。

ベビーチェアに比べ、大人になっても使える工夫がされている製品がなかった。

◆ おもちゃコンサルタントさんを訪問

赤ちゃん木育広場「もくれん」さんを訪問し、こどもがどのようなおもちゃに興味を持つのか、どうして木材がよいのかなどをお聞きした。また、木材でベビーカーを製作したい旨を伝え、四輪の自動車などの子供が自らの足で進むおもちゃはどうかとの提案もしていただくことができた。

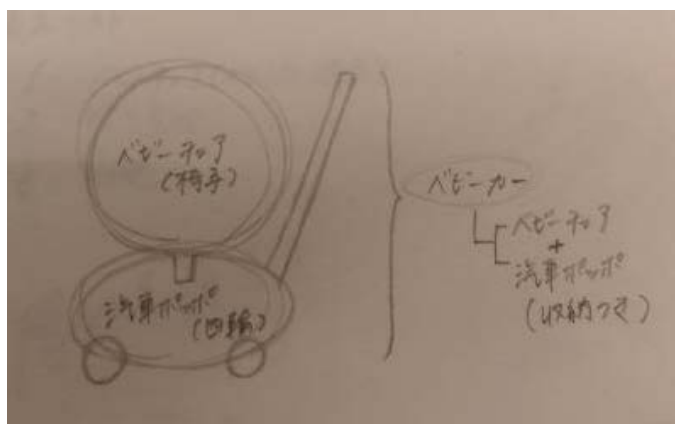
◆ イベント参加

12月に開催された、NPO 法人 Lotus さん主催のおもちゃイベントに参加させていただいた。1000点以上のおもちゃが出展され、実際に子供がどのようなおもちゃを気に入るのか、子供がよく集まるおもちゃは何かを自分の目で見る事ができた。積み木やパズルなどのおもちゃは親子でやる子供が多く、四輪のおもちゃや魚釣りなどのおもちゃは子供たちだけでやっているといった、おもちゃごとの傾向も知ることができた。

● アイデア展開

上記の調査、訪問から、ベビーカー以後はいすと四輪おもちゃに分解できる製品を製作し、たとえばベビーカーとして使用することがなかったとしても、外で遊ぶおもちゃとして、家で座るいすとして使用することができるようなデザインにした。

成果物(完成作品)



いすと四輪おもちゃを組み合わせたベビーカー。



考察

製品を長持ちさせる方法はいくつかあるが、本研究では1つの製品で子供から大人まで使用することができることを目的とし、製品を長期間使用してもらえようとした。しかし、今回製作するにあたり、既存のベビーカーの機能である軽さ、収納スペース等を備えることができなかった。また、木材を使用したことにより、雨天時の運転には向かず、天気を選ぶ製品となってしまった。今後の製品には、購入が無駄にならないような、適応年齢を超えても使用できる工夫が必要だと考える。

参考 URL アンケート <http://www.muji.net/lab/living/thm07-02-report01.html>